 石J			開講年度 令和03年度	(2021年度)	授業科目					
	·····································		. , ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	\ <i>\</i>	·	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				
科目番号		20224		科目区分	専門 / 必修	<u> </u>				
授業形態	_	講義		単位の種別と単位数						
開設学科		電気工		対象学年	4					
開設期	<u> </u>	通年	P14	週時間数	2					
<del>脚 政                                   </del>	数本才		 -郎、司ゆき著 「わかるPython [							
担当教員		西山勝	<u>'</u>	- Inyoea 147/3 Srytion [大足版]]						
2. pytl 3. デー 4. 機械	honの文法に honの標準ラ -タベースに 城学習につい	イブラリに ついて理解して理解し、オ	し、利用できる。 ついて理解し、利用できる。 」、利用できる。 利用できる。 リークについて理解し、利用できる。 リークについて理解し、利用できる。							
ルーブ	 リック									
-			理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベル	レベルの目安 未到達レベルの目安					
到達目標 項目1,	票 <i>う</i>		pythonを利用できる。	基本的なpythonを		pythonを利用できない。				
到達目標項目3			データベースを利用できる。	基本的なデータベーきる。	-スを利用がで	データベースを利用できない。				
<u>坂口3</u> 到達目標 項目4,				基本的な人工知能を	を利用ができる	人工知能を利用できない。				
	<u>5</u> 到達目標 <sup>]</sup>	百日レの門		0	0					
			ਚਾਸ <del>ਾ</del>							
創造工学		子首日標 2 A1 創造工	学プログラム B2専門(電気電子工学)							
教育方	法等									
概要		python	によるブログラミングを学び、人工タ	データベースについての理解を深めるためにpythonによるプログラミングを学ぶ必要がある。本稿では、 はるプログラミングを学び、人工知能、データベースを利用する技術を身に着ける。また、演習において、実						
【事前事後 授業の進め方・方法 到達目標の 知識の確実			Pに適用し、ものづくりや問題解決の能力を修得することを目的とする。 後学習など】 D達成度を確認するため、講義内に行った演習問題を提出してもらうことがある。 長な定着のために、随時与える課題は、期限までに必ず提出すること。 応】Ⅳ-C 情報リテラシー(情報の基礎、アルゴリズム)、情報対応教育科目							
	属性・履	と後期の 成績の記 多上の区分		3.	当 <b>詳</b> 趣(20% <i>)</i>					
	ティブラーニ	_ <i></i>	□ ICT 利用	☑ 遠隔授業対応		□ 実務経験のある教員による授業				
	·画·									
以未可		週	授業内容	<b>注</b>						
		1週			pythonの特徴について説明できる					
	1stQ		pythonとは							
前期		2週	pythonの基本文法 1	<u> </u>		について説明できる				
		3週	pythonの基本文法 2			について説明できる				
		4週	pythonの基本文法 3		pythonの基本文法について説明できる					
		5週	pythonの制御構文 1		pythonの制御構文について説明できる					
		6週	pythonの制御構文 2	<u> </u>	pythonの制御構文について説明できる					
		7週	pythonの制御構文 3		pythonの制御構文について説明できる					
		8週	pythonの関数定義と変数スコープ		pythonの関数定義と変数スコープについて説明できる					
		9週	pythonの関数定義と変数スコープ	2 py	/thonの関数定義	と変数スコープについて説明できる				
		10週	pythonのデータ構造 1	py	pythonのデータ構造について説明できる					
		11週	pythonのデータ構造 2	py	pythonのデータ構造について説明できる					
	2-40	12週	pythonのデータ構造 3	py	pythonのデータ構造について説明できる					
	2ndQ	13週	pythonにおけるオブジェクト指向	1 py	pythonにおけるオブジェクト指向について説明できる					
	1	14週	pythonにおけるオブジェクト指向	2 py	pythonにおけるオブジェクト指向について説明できる					
		14/0	P / C. 10 . 1. 2		試験問題について説明できる					
		15週	試験の返却と解説	試	験問題について	ブジェクト指向について説明できる				
				試	験問題について	ブジェクト指向について説明できる				
		15週 16週	試験の返却と解説			ブジェクト指向について説明できる 説明できる				
		15週 16週 1週	試験の返却と解説 pythonの標準ライブラリ1	py	/thonの標準ライ	ブジェクト指向について説明できる 説明できる ブラリについて説明できる				
		15週 16週 1週 2週	試験の返却と解説  pythonの標準ライブラリ 1  pythonの標準ライブラリ 2	Py Py	/thonの標準ライ /thonの標準ライ	ブジェクト指向について説明できる 説明できる ブラリについて説明できる ブラリについて説明できる				
後期	3rd0	15週 16週 1週 2週 3週	試験の返却と解説  pythonの標準ライブラリ 1  pythonの標準ライブラリ 2  pythonの標準ライブラリ 3	ру Ру Ру	rthonの標準ライ rthonの標準ライ rthonの標準ライ	ブジェクト指向について説明できる 説明できる ブラリについて説明できる ブラリについて説明できる ブラリについて説明できる				
後期	3rdQ	15週 16週 1週 2週 3週 4週	試験の返却と解説  pythonの標準ライブラリ 1  pythonの標準ライブラリ 2  pythonの標準ライブラリ 3  データベースプログラミング 1	ру ру ру т	vthonの標準ライ vthonの標準ライ vthonの標準ライ ータベースプロ・	ブジェクト指向について説明できる 説明できる ブラリについて説明できる ブラリについて説明できる ブラリについて説明できる グラミングについて説明できる				
 後期	3rdQ	15週 16週 1週 2週 3週 4週 5週	試験の返却と解説  pythonの標準ライブラリ 1  pythonの標準ライブラリ 2  pythonの標準ライブラリ 3  データベースプログラミング 1  データベースプログラミング 2	Py Py Py デ デ	vthonの標準ライ vthonの標準ライ vthonの標準ライ ータベースプロ・ ータベースプロ・	ブジェクト指向について説明できる 説明できる ブラリについて説明できる ブラリについて説明できる ブラリについて説明できる グラミングについて説明できる グラミングについて説明できる				
後期	3rdQ	15週 16週 1週 2週 3週 4週	試験の返却と解説  pythonの標準ライブラリ 1  pythonの標準ライブラリ 2  pythonの標準ライブラリ 3  データベースプログラミング 1	p) p) p) デ デ デ	vthonの標準ライ vthonの標準ライ vthonの標準ライ ータベースプロ・ ータベースプロ・	ブジェクト指向について説明できる 説明できる ブラリについて説明できる ブラリについて説明できる ブラリについて説明できる グラミングについて説明できる グラミングについて説明できる グラミングについて説明できる				

		8週	機械	 学習 2			機械学習について記	説明できる	)			
		9週		<del>2                                    </del>	機械学習について説明でき							
		10週		ューラルネットワーク 1		ニューラルネットワークについて説明できる						
		11週	1	- ラルネットワーク 2			ニューラルネットワークについて説明できる					
		12週	ディ-	ープニューラルネットワーク 1			ディープニューラルネットワークについて説明できる					
		13週	ディ-	ープニューラルネットワーク 2		ディープニューラルネットワークについて説明できる						
		14週	ディ-	ープニューラルネットワーク3		ディープニューラルネットワークについて説明できる						
		15週	試験の	D返却と解説			試験問題について説明できる					
		16週										
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標												
分類				学習内容	学習内容の到達目標				到達レベル	授業週		
				情報リテラシー	情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識を活用できる。		を活用で	3				
					論理演算と進数変換の仕組みを用いて基本的な演算ができる。		3					
基礎的能力	工学基礎	情報リラ	テラ		同一の問題に対し、それを解決できる複数のアルゴリズムが存在 しうることを知っている。		3					
					与えられた基本的な問題を解くための適切なアルゴリズムを構築することができる。		ムを構築	3				
					任意のプログラミング言語を用いて、構築したアルゴリズムを実 装できる。		3					
評価割合	•	•		•					•	,		
試験					ポートフォリオ			合計				
総合評価割合 80				)		20 100		100				
基礎的能力 0				0		0 0						
専門的能力				1		20	100					
分野横断的能力				0		0	0					